

# 水リスクと企業



グローバルウォータ・ジャパン代表  
(国連テクニカルアドバイザー)

吉村 和就  
よしむら かずなり

グローバル化が加速し、多くの日本企業が海外で積極的に事業展開している。しかし、その先には多くのリスクが待ち構えている。相手国の政治的リスク、為替リスク、テロ・暴動などのリスクが存在するが、今まであまり注目されてこなかったのが「水リスク」である。

水リスクの顕在化、例えば2011年7月に起こったタイ大洪水の被害額は1億4千万バツ(約3兆5千億円)であり、これはタイの国民総生産(GDP)の10%に相当し、過去最大の損失であった。このタイの洪水被害額は、世界の自然災害による経済損失400

## 世界における水リスク問題

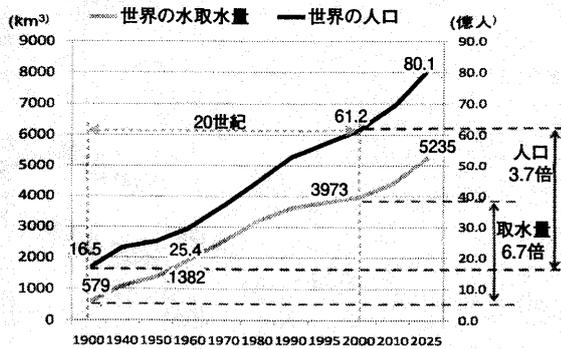
及ぼす事例が増えるであろう。では企業にとり、どのような水に関するリスクが存在するのであろうか。第一回は世界の水リスク問題について述べてみたい。

使える淡水は0.01%しかない

1961年ソ連(現ロシア)のカガリン少佐が、人類で初めて宇宙で淡水は2.5%しかない

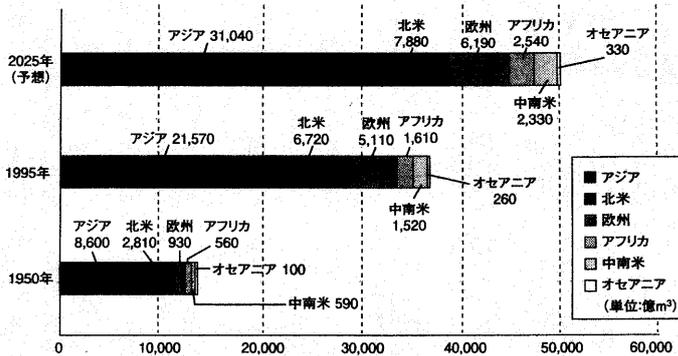
# 人口増加や地球温暖化：50年までに水不足10億人

の人は14億立方メートルあるが、その97.5%は海水で淡水は2.5%しかない。しかもこの貴重な淡水資源の7割は氷山・水河や万年雪で固定さなれ、残りの約3割は地下に存在している。つまり人間がエネルギーをかせがないで常時使える淡水は、わずか0.01%しかない。わずか約10万立方メートルの水だけが太陽熱により蒸



出典：人口：UN, World Population Prospects; 水取水量：WORLD WATER RESOURCES AND THEIR USE a joint UNESCO product

世界人口と取水量の推移



出所：国土交通省「日本の水資源 平成19年度版」

急増する世界の水需要

発し降雨や降雪により持続的に資源再生され、人間がアクセス可能な形として河川水や湖沼、帯水層に存在している。

### 人口増加と水需要

水資源に限られる中で、世界人口が急増している。人口増加と水資源に関する国連の調査によると、1900年から2000年までの人口増加率は3.7倍だったが、その取水量は6.7倍になっている。2000年以後、さらなる経済発展と都市人口の増加により、世界の取水量は激増し、水不足状態が世界に広がっている。OECD(経済協力開発機構)の調査によれば50年までに、世界の水需要はさらに55%増えることが予測されている。すなわち2000年比で製造用水は400%

### 地球温暖化と水資源

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は、50年までに世界で10億人以上が水不足の影響を受けると予測している。また都市化率の高い中緯度地域では河川流量が10~30%減少し、高緯度地域では河川流量が10~40%増加することも述べている。

このように、企業にとってグローバルな水資源リスクは日増しに増大している。